

離島応援終了（おつかれさまでした！）



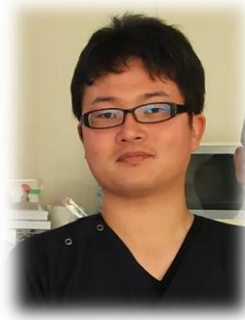
にひら たかし
仁平 敬士
湘南鎌倉総合病院
期間：10月

Q 期間中に経験したこと
A 訪問診療で患者様の生活を
かいま見ることができました

Q 今後について
A ER医として幅広く、また
可能な限り奥深い知識と経験を
積みたいと思います

Q 石垣島の思い出
A 綺麗な空と海・空気の中で
のんびりできました

離島応援終了（おつかれさまでした！）



はせべ ともひさ
長谷部 智久
上尾中央総合病院
期間：10月

Q 期間中に経験したこと
A 訪問診療は初めての経験で
した
ご長寿の方が多くて驚きでした

Q 今後について
A 形成外科医として進む予定で
すがプライマリケアの視点を忘
れないようにしたいです

Q 石垣島の思い出
A ダイビングを楽しむことがで
きました 竹富島・小浜島など
に観光して満喫できました



看護部キャリアアップ研修で学んだこと（報告書より一部抜粋）

私達の環境は、当たり前のように総合病院・歯科・クリニックは身近にある。離島では数時間かけて通院する方がたくさんいた。離島行きフェリー内でも杖をつきながら「病院へ行くの」と受診のために渡航する光景を見た。離島の過疎化と高齢社会を実感した。透析室では「病院へ来るのは大変じゃないですか？」と聞いてみたところ「気分転換になる」「看護師さんとお話するのもなかなか楽しい」意外にも前向きな発言に驚きました。看護師の介入で前向きに病氣と付き合う事ができることを学びました。外来の問診ブースでは「我慢していただけど痛みには耐えられなくて来た」「様子を診ていただけどやっぱり苦しい」とギリギリまで我慢して来院される方が多かった。来院される頃には症状が悪化しているケースもあるとのことで離島の現状を知ることができた。週一回のシーツ交換日は病院中が把握していて1階から5階までの職員が病棟へ助けに来てくれる。助け合う心と感謝の心の大切さを感じた。訪問看護では、患者様が一番落ち着く自宅で家族と向き合いながら看護をすることに魅力を感じた。今の経験を活かして10年20年後・・・訪問看護を考える人生があってもいいのでは？と自分自身を見つめ直すことができた。この1週間たくさんの刺激を受ける事ができた。離島の人員不足は徳洲会グループが協力し合い高め合っていく必要性を感じた。



すとう あかね
須藤 茜
湘南鎌倉総合病院
期間：10月23日～27日
（写真左）

ガーデニングクラブ通信（秋）

当院の建築を担当していただいた佐藤工業(株)沖縄営業所長梶原 仁様にご挨拶でご来院になり、本年も「とやまのチューリップ（球根）」を頂きました。昨年も頂いた球根を一旦休眠させ2月に植えこみ3月の後半には綺麗な花を咲かせることができました。今年も頑張って花咲かすぞ！有り難うございます。



台風の接近に伴い中止となった病院祭に出演予定でした「ミヤギマモルさん」「比嘉舜太郎さん・林さやかさん」を招いて職員懇親会を開催しました。素敵な時間を皆で共有して有意義な懇親会となりました。有り難うございました。



8

8

